



社会福祉法人 災病じらかし会 会報 Vol. 17
2023年 5月 15日 発行



早いもので平成17年2月18日に社会福祉法人大和しらかし会を発足してから18年が経ちました。平成13年松風園の民営化の話が示されました。この間、施設運営に必要な10年間の施設運営の経験が必要でしたので、規制緩和を待つことになりました。平成14年10月に10年の運営経験がはずされ、認可があれば松風園の運営が可能な状況となり、開設の運びとなりました。統括園長のすばらしいリーダーシップにより職員一同一丸となって邁進、障がい児者にとってやさしい安心な素晴らしい施設となりました。これも職員一人ひとりの協力と愛情のたまものと感謝しております。

令和5年1月20日、第2松風園、松葉の家の成人を祝う会に参加させていただき、とても和やかでアットホームな催し、こんなすてきな事業所はやはりしらかし会の伝統と思いました。がんばれしらかし会！！

第1松風園もコロナ禍でなかなか思うように行事ができない中、児童関係事業所とともに職員一人ひとりの支援、ご家族の皆様と話し合える場所、相談できる場所の体制を作り、努力している姿は嬉しくて感謝しております。

4月に入り新年度のクラス懇談会があり、1クラス毎に参加させていただきました。お母様方の子どもさんに対する思いを強く感じながら、悩み、子どもたちの楽しい生活を語ってくださる思いに感動しました。これなら大丈夫。親子で楽しい将来を過ごすことができるなあと思いました。

親の立場として親亡き後なども身近に感じるようになったのも年老いてきたためでしょうか。やさしい笑顔と一声があるとホットします。これからもやさしく親子共々見守ってください。

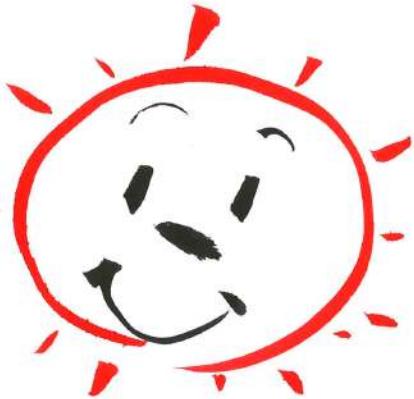
しらかし会大好きです！！

理事長 春日惠美子

児童発達支援センター

事業所
特集
PART 10

第1公園



みなさん、こんばんちに。令和4年度刈 第1公園園長になりました。
蓮見麻衣子です。今日は園庭に新しい仲間入りした 総合遊具をご紹介します。何も無いところに設置するのとは違い、お子さんたちが日々療育を受けながら大好きな園庭。遊びをがまんしながら設置していくのは、とても大変だということを予測されました。まずは音の課題。聽覚過敏なお子さん、刺激的に左耳であるお子さん。公園内に配慮が必要とするお子さんがたくさん通っています。みんな環境を整えることで力を発揮できるお子さんはあります。実際は同事務所のミ協から陰で声をかけてくれたりと、運営ミシカキをしていました。通っているお子さんの特性を伝えることで大切さを実感いたしました。もうひとつ課題だ。それがお子さんが運動できる場の確保。PT室、屋内訓練室、屋上...あらゆる場所を使用し活動内容を工夫、繰り重ねました。ご家族、お子さんにアドバイス協力いただき完成度が現在、新1年生も卒園前にあそぶことができました。実際お子さんたちがあそんでいる様子は今後ホームページで紹介していく予定です。お楽しみに。

コロナ 5類へ

コロナ禍、とても長かったですね。
ついに5月8日 5類へと引き下げられました。
先日、県のクラスター判定の説明を受け
「コロナがなくなった訳ではない、この辺はまだ
とても印象的でした。
当法人では今後も 室内はご家族、職員はマスク着用を決めました。 当法人をご利用の際
にはご理解の上、ご協力の程よろしくお願い
申し上げます。
これからは withコロナで頑張ります。

